



日本ファン待望の“ヴァイオリンで語るヴィルトゥオーゾ”再・再来日

ADRIAN JUSTUS VIOLIN RECITAL

アドリアン・ユストゥス ヴァイオリンリサイタル



ラファエル・ゲラ (ピアノ)

賛助出演: 黒沼ユリ子 (ヴァイオリン)

メシアン: 主題と変奏曲

イザイ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ第4番

ラヴェル: ヴァイオリンソナタ / ツィガーヌ

ベラスケス: 序奏と舞曲 (無伴奏曲)

サン＝サーンス: ハバネラ

ヴェニアフスキ: スケルツォタランテラ

ショスタコーヴィチ: 3つの二重奏曲

サラサーテ: “ナヴァラ” (二重奏)

2013年 **1月21日** (月)

18:45開演 18:00開場

[自由席] 一般 4,000円 友の会 3,500円 学生 2,400円

ハーフ 60 2,400円

(後半当日券は一般料金の60%！)

※前半終了後にご入場下さい。

チャリティーシート [指定席]

A列7番～17番、B列7番～18番は、通常料金の10%アップの料金となり、プラス分をチャリティーとして寄付致します。

「千の音色でつなぐ絆」プロジェクト

本公演ではプロジェクトに賛同し、三陸高田の廃墟の中から生まれた2台のヴァイオリンによる二重奏が行われます。

友の会会員発売 10月7日(日) 一般発売 10月14日(日)

「友の会」、「学生」、「ハーフ60」のチケットに関しては宗次ホールチケットセンターでのみ取扱います。

主催: 宗次ホール 後援: 在日メキシコ大使館 協賛: オフィス・アミーチ

チケットの
お求めは

宗次ホールチケットセンター TEL:052 (265) 1718

〒460-0008 名古屋市中区栄4-5-14 地下鉄栄駅⑩番出口より東へ徒歩4分

営業時間: 10:00～18:00 年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)

●チケットぴあ TEL:0570 (02) 9999 ●柴プレチケ92 TEL:052 (953) 0777 ●芸文P.G. TEL:052 (972) 0430
●ヤマハP.G. TEL:052 (201) 5152 ●中目サービスセンター TEL:052 (263) 7282

くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

<http://www.munetsuguhall.com>

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。

アドリアン・ユストゥスと「千の音色でつなぐ絆」

ヴァイオリンで語るヴィルトゥオーゾ、アドリアン・ユストゥス

「非の打ちどころがない」とさえ言われる美観を持つヴァイオリンという楽器は、実は「原始的」とも言える程メカニズムからは遠い代物。空の木箱にピンと伸ばして張った4本の弦を、馬の尻尾の毛が束ねられて出来た弓でこすって音を出すだけなのだ。だが、その4本の弦が誰かの左手の4本の指で押さえられ、右手に持つ弓で弾かれることによって、その空箱からは、まるで魔法のように人の心を奪って放さない音楽が生まれてくるから不思議。その木箱と弓を使って誰かが我々に、人生の喜怒哀楽を語りかけ、歌ってくれたら、の話だが…。

ある時アドリアン・ユストゥスを「歌うヴィルトゥオーゾ」と紹介したところ「彼は声楽家でもあるのですか?」と訊かれて返事に窮したことがあったが、今になって思えば、それは正解。あたかもオペラ歌手のように彼は語り、よく歌うヴァイオリニストなのだ。

ブラジド・ドミンゴ、フランシスコ・アラヤサ、ラモン・バルガス、ロランド・ピヤソン(ピラソンは誤読)、ハビエル・カマレーナは、メキシコが世界の楽壇に送り込んだ有名なテノール歌手たちの名前だと即答できるオペラ・ファンは、日本にも少なくないだろうが、ユストゥスは彼らと並びメキシコが誇る「歌うヴィルトゥオーゾ」。去る1月に開かれたパガニーニの「カプリス全24曲」による彼のリサイタル後には、次のような感想も届いた。

何という瑞々しくも豊かに息づく音楽であろうか。歌うことが楽しくてしょうがない。そして聴衆全員にこの作品の魅力を共有しようではないかという様な熱い語りかけ。これまで聴いてきた多くのヴァイオリニストが小さく見えてしまうようなスケールの大きさ。有名な13番の語りの巧みさは、ユストゥス自信がパガニーニになりきり語りかけている様な生々しさがあった。

少年時代に日本の聴衆から受けた温かい拍手の音が忘れられず、ヴァイオリニストとして生きるスイッチをONにしたユストゥスにとって、東日本大震災は他人ごとではなかった。今回「千の音色でつなぐ絆」に共鳴し、岩手県の流木から作られた中澤ヴァイオリンを演奏することで、尊い犠牲者への鎮魂と不運な被災者たちとの連帯を表明し、この未曾有な大悲劇を風化させない為に参加する。超絶技巧を飾らずに駆使しながらのユストゥスの自然体の演奏によって、このコンサートで一人でも多くの日本の聴衆が幸せを実感して家路についたら、と願って止まない。それを彼は「神から授けられた使命」と信じて疑わないのだから。

ヴァイオリニスト 黒沼ユリ子



↑ヴァイオリニスト黒沼ユリ子さんと愛弟子アドリアン・ユストゥス

アドリアン・ユストゥス (ヴァイオリン)

メキシコ市生まれ。幼少より音楽的環境に恵まれた家庭に育ち11歳でAcademia Yuriko Kuronumaに入り、黒沼ユリ子に師事。1985年「日本メキシコ友好コンサート」で初訪日。この時日本で受けた暖かい拍手で音楽が持つ不思議な力を体験し、将来への道を心に決めたという。メキシコの全国ヴァイオリン・コンクール優勝、オーケストラとの共演デビューをしてからロチェスター大学のEastman School of Musicに入り、Prof. Zvi Zeitlinに師事。特別奨学金を受け榮譽賞付で学位を取得。その後、Manhattan School of MusicでPinchas Zukermanのもとでも研鑽を積んだ。国際ヘンリック・シェリング・コンクールで金賞、メキシコのモーツァルト・メダル受章、ニューヨークの国際アーティスト・コンペティション賞なども受賞。カーネギー・ホール、ウイグモアホール、バービカン・センター、サントリーホール、テルアヴィヴのアート・ミュージアム、メキシコの国立芸術宮殿、プラハ城のスペイン宮殿など国際舞台に立ち、各地で好評を得る。

ロンドンのフィルハーモニア・オーケストラとシベリウスの協奏曲、メキシコのケレタロ・フィルハーモニーとエンリッケスの協奏曲第1番、アメリカの現代室内楽アルバム「タペストリー」などがすでにリリースされていたが、日本での2011年リサイタルからのライブ「ラ・カンパネラ」と2012年リサイタルからのライブ「パガニーニ・24のカプリス」も絶賛され、好評発売中。楽器は1744年製ガアルネリ デル ジェス "Lord Coke" を使用。



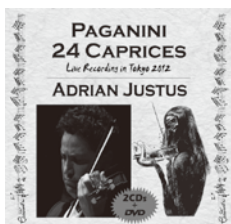
ラファエル・ゲーラ (ピアノ)

メキシコ北部のシナロア州生まれ。メキシコシティにて今日のメキシコを代表するピアニスト ホルヘ・フェデリコ・オソリオに師事する。その後マンハッタン音楽院にて、アルカディ・アロノフ、オハイオ州立シンシナティ大学にてピアノをウィリアム・ブラックに、室内楽をジェームス・トッコ、サンドラ・リバーズに師事。ニューオリンズ・ピアノコンクールにて第1位、コンサート・アーティスト・ギルド(ニューヨーク)ファイナリスト、サン・アントニオ・ピアノコンクールにて委嘱作品最優秀賞を受賞。メキシコ、アメリカを中心にソロおよび室内楽演奏で活躍後、1997年より日本に拠点を移し、アマデウス・アンサンブル・オーケストラ、モーツァルト・アンサンブル・オーケストラとの共演やリサイタル、また黒沼ユリ子、名倉淑子、平松英子、浦川宜也とのデュオ、クライネス・コンツェルト・ハウス室内楽シリーズに出演など、意欲的に演奏活動を行っている。2008年には客員教授としてフェリス学院大学に招かれている。

パガニーニの「24のカプリス」を生で全曲を通して聴くという経験はまずないし、その様な冒険に挑戦するヴァイオリニストも稀であろう。そして1時間半以上を聴く者を集中させ、酔わせるというのは至難の技であろう。ところがユストゥスはそれを当たり前のようにこなしてしまう。

最近注目する若手と言っても、きれいな音でこじんまりと纏まっている人が多い気がする。ユストゥス持ち前のスケールの大きさ、ライブ感に加え、黒沼ユリ子から受け継いだ「音楽の楽しさを伝える力」を今後も発揮してほしいと願う。

(ライブ録音当日の来場者よりいただいた感想の一部です。)



- 必聴! 必見!! 世界初!!! 一夜に全24曲ライブ録音・録画
- 運弓・運指をズームアップでキャッチ
- 黒沼ユリ子プロデュースシリーズ渾身の第2弾

カプリス全24曲ライブ 紀尾井リサイタル

パガニーニ:24のカプリス集 作品1 (無伴奏ヴァイオリン独奏曲)
全24曲が練習曲とはほど遠く、各曲が、まるでパガニーニ自身の真意を語るようにさえ聴こえる演奏。曲順も、これまで試みたことのない前後の調性や内容を吟味した上で、独自の連続性がユニークで光り、勇気ある決断が魅力を倍増している。

- アンコール サンサーンス:序奏とロンドカプリチオーソ 作品28
- ファリャ:スペイン舞曲「はかなき人生」より
- メキシコ民族舞曲集「ハラベ・タパティオ」アドリアン・ユストゥス編曲
- ◎2012年1月19日 紀尾井ホールにてのライブ収録 (ルビジウムクロックを使った超高音質録音)
- ◎ディスク内容:CD×2枚、DVD×1枚



メキシコの「歌うヴィルトゥオーゾ」アドリアン・ユストゥス待望のCD 当日の同時収録LiveDVDのプレゼント付!! 黒沼ユリ子プロデュース・シリーズ第1弾

ラ・カンパネラ アドリアン・ユストゥス ヴァイオリンリサイタル ラファエル・ゲーラ(ピアノ)

- 品番:AJ-1001
- 税込価格:3,000円
- ◎2011年1月13日 紀尾井ホールにてのライブ収録 (ルビジウムクロックを使った超高音質録音)
- ◎ディスク内容 CD×1枚、プレゼントDVD×1枚

オフィス・アミーチ TEL 03-5938-7141 FAX 03-3393-7141 office-amici@jcom.home.ne.jp http://office-amici.com/ 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 1-3-17-302

「千の音色でつなぐ絆」プロジェクトについて

このプロジェクトは、東日本大震災の被災者支援のために、ヴァイオリニストの黒沼ユリ子氏が、被災地で生まれ育った木材でヴァイオリンを製作し、氏の思いに賛同する仲間たちがこのプロジェクトを実施するための組織「命をつなぐ木魂(こだま)の会」を作り、その楽器の演奏を通して被災された方を励まし、亡くなられた方に鎮魂の祈りを捧げ、この震災でおきたことを風化させずに世代を超えて語りつないでいくことを目的としています。

【運営】ヴァイオリン・プロジェクト「千の音色でつなぐ絆」
命をつなぐ木魂(こだま)の会 (violinproject@hotmail.co.jp)

【協賛】NPO法人 イエローエンジェル NPO法人 陸前高田市支援連絡協議会
日本木材青壮年団体連合会・レッスンの友社

■交通アクセス
地下鉄栄駅 12番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)